

◎第9回理事会 (36.2.24) 出席者：沼田会長，外理事14名。議事：1) 36年度予算案を審議し次回理事会で決める。2) 日本学士院会員候補者は大学院のある大学に照会して推薦をまち次回理事会で審議する。3) 第6回水理研究会講演会および第8回海岸工学講演会をそれぞれ地方で開催することを了承。4) 出版企画委員会の計画する工事写真集を50周年記念事業として出版すること，工業高校教育の資料出版計画を了承。5) 土木学会誌広告料金その他の改正契約を了承。6) 出版企画委員会および海岸工学委員会委員委嘱を了承。7) 特別員増強促進に関する関係理事の会合を了承。8) 鋼材クラブよりの異形丸鋼に関する研究依頼を了承。9) 36年1月会員入退会を承認。報告：36年1月会計報告，刊行物申込一覧表，各種委員会の報告を承認。

◎支部長会議 (36.2.9.) 出席者：岩本北海道，樋浦東北支部長，近藤関西支部長代理，岡田幹事，渡辺中部，藤村西部両幹事長，沼田会長，富樫，滝山両副会長，阿部，岡本，小倉の各理事。次の事項を報告し承認を得た。1) 36年度論文集発行計画に関する理事会の決定事項。2) 特別員会費改正に関する常議員会の承認事項および定期刊行物頒布部数変更に関する理事会の決定事項。3) 名誉員候補推薦に関する内規改正に関する理事会の決定事項。次の事項を協議し承認を得た。1) 支部交付金改正に関する事項：a. 普通交付金を正員10%とし年度末会費実収額とする，b. 学生員は交付の対象としない，c. 特別交付金は特別員50%とし年度末会費実収額より定期刊行物経費を差し引くこと。2) 支部における会員，特別員増加促進に関する事項。3) その他。

◎各種委員会

1. 第3回グラウト専門委員会 (36.1.27) 出席者：国分委員長，外委員18名。議事：1) PC設計施工指針改訂原案でグラウトの箇条が欠けているので保充すべく“PC導孔へのグラウト注入”につき審議。2) 今まで行なったグラウト試験の中間報告。3) 次回委員会を3月3日17時からとする。

2. 土木賞委員会主査幹事打合せ (36.1.30) 出席者：主査2名，幹事4名。議事：1) 推薦候補論文の資格整理。2) 会誌および論文集両編集委員会の追加推薦依頼について。3) 今後の運営方針について。4) 今後のスケジュールについて。5) その他。(36.2.2) 事項：1) 推薦書のガリ版原紙の校正(大平，山本の両幹事)。2) 推薦候補論文の審査の価値の判定および審査員案に関する意見を土木賞委員に諮問する資料の作成。3) 上記の資料を2月6日に発送，2月20日までに回答を求めること。(36.2.22) 事項：1) 2月20日までに委員から回答のあった候補論文の価値の判定および審査員に関する意見を整理した。2) 決定した審査員に対し，候補論文についての審査意見書の作成を依頼する書状および資料を2月23日発送することとした。

3. 文献調査委員会幹事打合せ (36.1.13) 出席者：担当委員4名。議事：パンチカードの文献分類項目につき専門家呼んで研究した。

4. 第19回PC設計施工指針改訂小委員会 (36.2.3) 出席者：国分委員長，外委員，幹事17名。議事：1) 前回配布した第3次原案に従って2次審議未了の箇条(17,20,21,45,48,59,60,61,62,63条)を審議。2) あと2~3回で一応原案の審議を終るので外部からの意見を求めた上で5月9,10,11日ごろ，本委員会を開くことに決定。3) 次回は2月24日に開催する。

5. 第9回文献調査委員会 (36.2.6) 出席者：久野委員長，外委員6名。議事：1) 46巻3号登載文献抄録，目録の決定。2) 投稿抄録原稿について。3) 分類項目案について。4) 新しく文献目録に登載する雑誌“水処理技術”担当今岡委員に決定。5) 抄録基準，抄録原稿の集め方について次回まで検討する。

6. 構造物耐震設計研究委員会幹事会 (36.2.8) 出席者：岡本副委員長，外委員4名，幹事11名。議事：1) 橋脚および井筒の震害と震度計算の比較検討。2) 九頭竜川橋梁震害につき審議。3) 次回幹事会は3月2日14時からとし，35年度報告書の原案の審議をする。

7. 第9回会誌編集小委員会 (36.2.8) 出席者：堺副委員長，外委員2名。議事：1) 46巻2月号口絵写真およびニュースの決定。2) 46巻3号登載原稿の決定。3) 口絵写真の刷色について。4) 広告について。

8. 第2回出版企画委員会 (36.2.14) 出席者：佐藤，荒井正副委員長，外委員16名。議事：1) 委員追加および稲田常任委員の後任について。
稲田常任委員後任 水野 昭氏 建設省河川局計画課
委員追加 石井靖丸氏 連研港湾土質部長

2) 委員会内規について。3) 新規出版企画について。

9. 海岸工学委員会 (36.2.17) 出席者：本間委員長，外委員17名。議事：1) Coastal Eng. in Japan 刊行について。2) 第7回国際海岸工学会議のProceeding I,IIについて。3) 第8回海岸工学講演会を札幌市において開催について。4) 委員会構成メンバーの改訂について。

10. 会誌新設講座打合せ (36.2.20) 出席者：久野，山門両委員，横山(代後藤)吉村の両氏。議事：1) 新しい講座の設立経過について。2) 講座の総合題目について。3) 掲載回数について。4) 執筆者について。5) その他。

11. 長大橋梁および高張力鋼鉄道橋研究委員会 (36.2.21) 出席者：田中委員長，外委員幹事20名。議事：1) 第4章 溶接作業追加条項について。2) 第5章 検査。3) 第1章 総則第1条および第2章 材料第2条 鋼材のこの示方書を適用する鋼材について。4) 第3章 従事員について。5) 長大橋アーチ案について二，三の設計を検討した。

12. 第9回会誌編集委員会 (36.2.22) 出席者：後藤委員，外10名。議事：1) 審査中原稿の審査報告。2) 新規受付原稿審査委員の決定。3) 依頼原稿の状況。4) 小委員会報告。5) 講座打合せ報告。6) 新規講座について。7) 各国の各部門の研究動向について。8) 46巻4号会誌編集の件。

13. 第2回海外連絡委員会 (36.2.22) 出席者：徳善委員，外5名，幹事長，幹事1名。議事：1) 柳沢，西松新委員紹介。2) 本年度国際会議出席者候補者報告。3) 海外向け出版企画について。4) 委員会運営方針を次回までに作成する。5) その他。

支 部 だ よ り

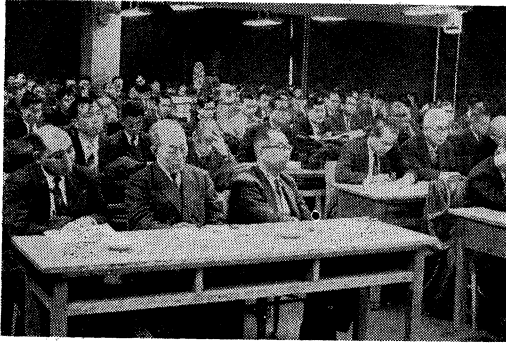
◎北海道支部

(1) 第6回幹事会 (36.1.10, 北電山鼻寮において) 出席者：大橋幹事長，奥，計良，小川，鎌田，蛭名，余湖，芳村，橋戸，浜田，森田の各幹事，小林編集委員，計12名。

(2) 第2回講演会 (36.1.26, 札幌市民会館会議室において)

1. アメリカの入札制度について 北海道開発局 町田利武君
2. 最近の経済情勢について 日本銀行札幌支店長 土方秀俊君
3. ソ連および欧州の土木事情 大成建設札幌支店次長 永井 寛君
聴講者約200名。

第2回講演会会場



◎東北支部 (36.2.15 報告)

新幹事長 佐々木茂雄氏(東北地建企画室長)
前幹事長 伊藤直行氏 近畿地建企画室長に転任のため

◎中部支部

(1) 第9回幹事会および第3回役員会 (35.12.19, 蓬萊)出席者:橋本支部長, 花井, 松本, 大林, 杉戸, 石田の各顧問, 佐藤, 四野宮, 井上, 鈴木(和), 榎, 八島の各評議員, 船越, 大崎, 平川, 伊藤の各常議員, 増田編集委員. 渡辺幹事長, 後藤, 高橋, 高田, 富永, 小野, 谷, 加藤, 宇佐美, 栗田, 島田, 滝淵, 榊, 藤本, 松久, 倉田, 長坂, 白井, 鈴木, 菊田, 栗栖の各幹事。

(2) 第10回幹事会 (36.1.17, 名城飯店)出席者:渡辺幹事長, 小寺, 後藤, 高田, 富永, 加藤, 宇佐見, 栗田, 滝淵, 榊, 藤本, 松久, 倉田, 長坂, 白井, 鈴木, 栗栖の各幹事。

(3) 学生見学会

- a. 金沢大学 実施日 35.11.25 見学先 北陸トンネル 第2工区 参加者 38名
 - b. 岐阜大学 実施日 35.12.1 見学先 愛知用水兼山取入口, 矢田川サイホン工事現場. 参加者 45名
 - c. 名古屋工業大学 実施日 36.1.28 見学先 名古屋市大治浄水場, 掘留および西山水処理場 参加者 62名
- (4) 第3回講演会 実施日 36.1.24 午後1時30分~5時
場所 名古屋市大広ホール

演題および講師

台湾を視察して 名古屋水道局上水部長 鈴木 和平氏
欧米の都市計画を視察して 名古屋土木局長 井上幸太郎氏

当日は正午頃から当地方にはめずらしい吹雪となり出足がはばまれたが約60名の参加者は最後まで熱心に聴講した。

◎関西支部

(1) 技術講座3号 (36.1.30, 2.6の2日間, 三和銀行谷町支店)参加者:93名(参加費100円)

(2) 高速度計算機の土木工学への応用講習会 (36.2.15, 16の2日間, 大阪府職員会館)参加者:291名(内管外77名, 参加費300円)

(3) 幹事異動 (36.2.20 付)

委嘱:近畿地方建設局企画室長 伊藤直行(前東北支部幹事長)
退任: 同 淀川工事事務所長 井部勇一

(4) 第10回幹事会 (36.2.20, 大阪建設会館)出席者:近藤支部長, 小西幹事長, 石田, 中川, 毛利, 井部, 小林, 打田, 宮崎, 伊藤(富), 岡田, 大村, 伊藤(直), の各幹事。

(5) 工事研究会「パイル」(36.2.25, 大阪府職員会館, 土質工学会関西支部と共催)参加者:453名(参加申込者660名, 参加費無料)

編集
後記

この3月号がお手元にとどく頃は、奈良のお水取りも終って暖くなり、あらゆるものに春の息吹

きを感じられることでしょう。

近年の科学の発達にともない、土木の分野も飛躍的な発展を見ており、すでに昨春ともさらに異なったものが感じられる今日この頃、いわゆる土木屋本位の物の考え方に対し、外部から見た角画伯の「画家より見た橋と道」をまずトップに掲げましたが、今後もできるだけ広い分野の異なった人から、異なった発想をうることができればと大いに期待しています。

報告その他、ご覧のごとく、学術誌として範囲が広いだけに、かざられた枚数で、かたよった内容にならないように努

力していますが、大いに若手のフレッシュな投稿を期待すると同時に土木の進むべき未来像を誌上に反映できることを夢みています。

好評を得ていた「電子計算機とその応用」も、今度で最終回を迎えましたが、次回講座としては「地盤改良工法」について6回くらいに掲載する予定を立てております。

また論文集を36年度から暫定的に希望配布とすることになりましたので、従来誌上に紹介しておりました程度のアブストラクトを、今度から1~2ページとして十分論文要旨が徹底できる程度に、現在の学会誌の内容を圧迫しないように掲載することに決定いたしました。

なお、現在新幹線鉄道、道路と大工事が着々と進んでいますが、本土一四国を

結ぶ「夢のかけ橋」も夢でなくなり、さらには四国一九州をも一貫する交通網構想もなされ所得倍増とかいわれる10年後を想定した都市計画・新東京計画などと、いよいよスケールの大きい計画がなされるようになりましたので、おのおの各部門の研究動向を誌上でお伝えするように企画しています。

さらに土木技術者として知っておきたい「36年度予算の見どころ」とか「建設白書」の解説といったような「時事解説」のページを新設すべく準備を進めています。

宿願のカラー口絵工事写真もどうか4月号に間に合うまでにこぎつけました。御期待いただくとともに連続掲載に御協力をお願いいたします。

【佐藤・記】

御投稿のお願い

昨年のアンケートの結果によりますと、口絵写真・豆知識・ニュースなどが広く読まれているようです。しかしこれらの記事は非常に集まりが悪く編集に当り苦勞致します。より多く読まれる雑誌を目標に、広く会員各位からの御投稿を歓迎致します。口絵写真・豆知識・ニュースをはじめ、論説・報告・寄書・解説・会員の声……など、なんでも結構ですから、どしどし御投稿下さい。採用の分には薄謝を差し上げます。

東京都新宿区四谷一丁目 土木学会編集課 TEL (351) 5138・5139・5130

会員入退会について (昭和36年2月28日現在)

1. 入会	51名 (正42 学3 特2B 2 特3 4)
2. 復活	14名 (正)
3. 退会	15名 (正12 学1 特3 2)
4. 死亡	5名 (正)

会員現在数 (昭和36年2月28日現在)

名誉	賛助	特級	特1A	特1B	特1C	特2	特3	正員	学生員	計 増
32	30	9	10	24	107	129	132	13716	1327	15516 (45)

正員	岩瀬米藏君	KK山田組専務取締役	昭和35年12月31日	死去	65才
"	佐藤喜好君	電源開発KK北山川建設所	昭和34年	死去	46才
"	田賀秀和君	運輸省第四港湾建設局長	昭和36年2月9日	死去	51才
"	古川淳三君	日本自動車航送KK取締役	昭役34年12月27日	死去	75才
"	山口昇君	東京大学名誉教授	昭和36年2月12日	死去	70才

立坑



東洋一を誇る住友石炭奔別捲上立坑 (北海道)
(内径 6.4m × 深さ 735m)

ウエル シンキング



ウエルによる日新運輸岸壁工事 (横浜市)



別子建設株式會社

取締役社長 齋藤武幸

本店 東京都新宿区荒木町13の4 Tel. (351) 5 1 1 1
支店 大阪、四国 (新居浜市)、九州 (福岡市)、北海道 (札幌市)、名古屋
PC工場 相模原市・新居浜市・佐賀県三田川町

昭和36年3月10日印刷

印刷者 大沼正吉
発行者 末森猛雄

定価 100円

昭和36年3月15日発行

印刷所 株式会社技報堂
発行所 社団法人土木学会
振替 東京 16828 番

土木学会誌 第46巻 第3号

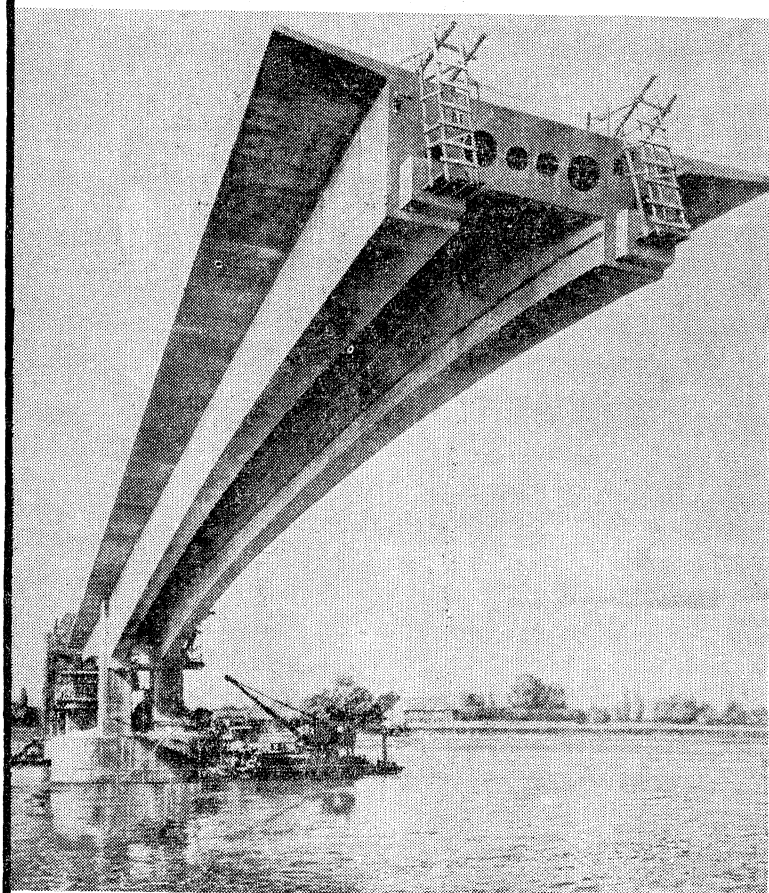
東京都港区赤坂溜池5番地
東京都新宿区四谷一丁目 (外濠公園入口)
電話 (351) 5130・5138・5139 番



PC鋼材の総合メーカー

住友電工の

PC鋼線 ストランド鋼棒



各種ピアノ線

弁発条用ピアノ線
一般バネ用ピアノ線
電機・バインド用線
錫メッキピアノ線

SEIOT線

(オイルテンパー線)

炭素鋼系
合金鋼系

当社はPC鋼線、ストランド鋼棒に及ぶPC鋼材の総合メーカーとして又これら各種PC鋼材を製鋼より製品に至る全工程について充分な品質管理の下に製造する一貫メーカーとして夫々本邦唯一を誇るPC鋼材の専門メーカーであります。新しいPC鋼材としての住友鋼棒はディビダーク工法に使用されてその品質を保証されましたが更に時代の脚光を浴びたPCストランドについてもいち早く生産を開始し御好評を得ております。

住友電気工業株式会社

本社 大阪市此花区恩貴島南之町 6 0
特殊線事業部 伊丹市昆陽字宮東 1
東京支社 東京都港区芝琴平町 1